

やりたいことが実行できる！

ゆべしんじ
夕部 信二さん(39歳)

四万十市管内で面積約70アールの畑にたくさんの品目を栽培している夕部信二さん。就農したのは令和元年8月で、ジャガイモ、サツマイモ、里芋、ショウガ、キャベツなど他にもたくさん、およそ30種類を育てています。夕部さんは「食べたいものを作り、作れるものは全部作ってみる」と話します。また、ショウガを加工しシロップを作り地域の飲食店に使ってもらっています。今後、販路を広げたいと考えています。また、同市不破に良心市を設置し野菜やショウガシロップを販売しています。

夢は、ほ場を拡大し雇用を生めるようにすること。さらに、「地元産の旬の野菜をたくさんの飲食店に使ってもらったり、加工品で地域の経済効果を促し活性化につなげたい」と未来を見据え熱意を込めて話しました。

中村支所管内より



大方支所園芸女性部で 焼き肉のたれを作りました！

これまで視察研修やバーベキューなどをして集まり交流をしていましたが、最近ではこれまでのような活動ができず、今年も昨年に引き続き焼き肉のたれを作りました。8人が参加。たれ作りを経験している方もいて手際よく作ることができました。

部長の山中三香さんは、キュウリと後作オクラを栽培しています。7月15日この時期は仕事がひと段落なので久しぶりに集まり活動できたそうです。調理中は食欲をそそるいいにおいがしていました。今晚のメニューは焼き肉で決まりですね♪

大方支所管内より



幡多
地区

から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

幡多地区管内より



女性大学はた小町「あぐりコース」 市民農園で野菜栽培中！

「あぐりコース」は今年度5人が受講しています。7月21日は講義の第3回目。幡東営農センター寺尾指導員が資料を使って、病害虫の防除について基礎から説明しました。また、実際に病気になってしまったキュウリの葉や害虫で被害を受けた葉を用いての解説がありました。受講生の皆さんは興味津々で観察していました。

今年もキュウリやナスなど豊作でした。オクラの収穫のタイミングが合わず大きすぎてしまったり、実らなかったものもあり今後の課題も見つかりました。また、キュウリがひと段落しその後何を植えようかと検討していました。秋にはみんなで植え付けをしたサツマイモの収穫も待っています。楽しみです。

野菜の栽培・収穫に興味のある方はぜひ、来年度の受講をご検討ください♪

革細工教室で キーケースを作りました♪

女性部幡多地区主催、女性部教室で7月29日、「革細工教室」を開催しました。教えてくれたのは、「Charm」松田千穂先生。応募対象者は幡多地区管内にお住いの女性の方ならどなたでも受講できます。

今回制作したのは「キーケース」。生地の色は赤、黄、緑、青、ターコイズ、グレーの中から好みのものを。また、周りを縫う糸の色もいくつかの色の中から選びました。キーケースには花の飾りを付ける方もいました。ご自身に、ご主人に、娘に、息子のお嫁さんに、お孫さんにと贈る相手はさまざま。皆さんそれぞれ顔を思い浮かべながら作ったことと思います。令和5年2月にも「革細工教室」を行う予定です。みなさんぜひご参加ください。

幡多地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



生育状況や管理環境などを見る参加者の皆さん。

1 幡多地区 シシトウ情報交換品目別営農指導員会

J A高知県は県管内産地の栽培状況などの情報の交換・共有を目的に毎月、品目別営農指導員会議を行っています。6月30日には幡多地区管内で、栽培するシシトウで露地・雨よけのほ場を巡回し、同J A営農指導員や同県農業振興センターなど22人が参加しました。

参加者らは各場でシシトウの生育状況や温度管理などの育成環境等を質疑応答しながら見て回りました。幡東営農センターの橋本誠指導員は「今年の梅雨入り期間が約2週間程度と雨量が少なかつた事から今年は菌などの病気の発生率より害虫の発生率が高い傾向が見られる。また高温なので晩方に灌水、早めの遮光ネット対策を行い、樹勢維持を呼び掛けている」と話しました。

本会議事務局の香美地区営農経済センター佐々木篤史さんは「今年はどこに灌水が大事となりそう。各産地の育成状況を確認することができた。生産者により良い指導ができるよう担当者が皆で情報を交換・共有していきたい」と締めくくりました。

3 幡多地区 女性大学はた小町「すてっぷあっぷコース」和菓子作り



手の動かし方や模様の入れ方を学ぶ受講生の皆さん。

幡多地区では、J Aをよりどころとして明るく豊かな仲間づくりを目的に、生活全般について様々な内容で学習しています。

「あぐりコース」は市民農園にて野菜や果物作り。「すてっぷあっぷコース」は文化芸術分野です。7月19日の第2回目は「和菓子処 大石」さんを講師に迎え「和菓子作り」を開催しました。「桜もち」と「練り切り3種類」「ひまわり」など「こ」(青もみじ)を作りました。

皆さんが真剣に取り組みまた楽しんでいました。和菓子専用の入れ物で持ち帰りました。第3回目は「陶芸教室」を予定しています。

2 幡多地区 青壮年部幡多本部パークゴルフで交流楽しむ



パークゴルフを楽しむ部員の皆さん。

青壮年部幡多本部では部員同士の交流を深めようと、毎年スポーツ大会を開催しています。昨年に引き続き、今年も黒潮町のパークゴルフ場で7月22日に行い、11人が参加しました。4チームに分かれAコース・Bコースそれぞれ9ホールを回りスコアを競います。1ホールに打数が設定されておりカップインするまでの打数を競い合うスポーツ。天候にも恵まれ皆さん爽やかな汗を流し楽しみました。

見事優勝したのは松田翔平さん・岡崎志志さんチームでした。

4 三崎支所 下ノ加江小学校が社会科見学に来ました



持ち上げられるよ、と挑戦する児童の皆さん。

下ノ加江小学校は地元の職場見学で7月1日、J Aの下ノ加江出荷場を見学しました。2年生から4年生の5人でオクラなど選果する部屋や事務所など見学し、積まれた20kgの肥料を持ち上げてみたり撮影したり、また「どんな仕事をしているのか、どんなものを売っているのか」など職員に質問し学習しました。4年生の松岡龍心朗くんは「色々な事が知れたので嬉しかった。色々な機械があつてびっくりした。オクラが曲がっているものもあるんだと分かった」と振り返りました。

5 幡多地区 第1回インボイス制度勉強会開催 青壮年部幡多本部・農業経営改善協議会幡多地区本部合同



説明を聞く参加者の皆さん。

税理士の山崎正友先生を招き地区本部で7月25日、令和5年10月から導入されるインボイス制度の勉強会を行い、20人が参加しました。現行の制度との違いや売手側や買手側の留意点、今後の農業者への影響など説明がありました。また、資料を用いてこれまでとの請求書の形式の違いや記載例を解説。参加者らは新制度について具体例を出し質問しました。

今回の合同勉強会は年内に再度開催する予定です。

6 中村支所 フラワーアレンジメント教室開催 幡多地区女性部中村支部



花と向かい合って真剣に挿す部員の皆さん。

女性部中村支部は7月13日、四万十市内で「双葉園」を営む梅原薫先生を招きフラワーアレンジメント教室を開催しました。6人が参加。同支部は毎年行っていて、今年も5回目の開催を予定しています。この日はアジサイ、オシジウム、リュウカデンドロン、ピンクッション、葉はモンステラ、ポボラスなどを使用しました。梅原先生は「リュウカデンドロンなど背の高い大きめのものを挿すと構成(形)ができる。あとは空間や隙間のバランスを考えてここに欲しいなと思う所に挿していく」とアドバイスしました。参加した部員は「久しぶりの開催で皆に会えたのも嬉しい。お花も可愛らしくて来てよかった」と喜びました。

7 中村支所 よさこいミディトマト研究会 反省会開催



反省会で出荷量や販売結果等を確認し合う会員の皆さん。

中村支所よさこいミディトマト研究会は7月14日、会員や高知県幡多振興センター、J A職員など13人が集まり反省会を開きました。今年度は約170tの出荷量で単価ともに前年を上回りました。

トマトは品種や量が全国的に多いため「よさこいミディトマト」の良さや特長を全面的に出していかなければならないなど意見が出ました。これからの位置づけが課題となります。その1つとして糖度7度を維持して品質良く統一し取り組みを話しました。

また、GAPを取り入れ世界基準の安全性を担保に栽培していくことを確認。同研究会安田幸人会長は「昨年度より出荷等は上回った。これからはGAPを取り入れ安全面や品質を保ち取り組みたい」と話しました。

初心者（家庭菜園）向け

ダイコンを作ろう！



栽培のポイント

- 土作りを十分にを行います。（深耕し、小石、大きい雑草の根を除く。未熟な堆肥は入れない。）
- 排水の良い圃場を選びましょう。
- 連作すると土壤病害、ホウ素欠乏の発生が多くなるので、他生物と連作しましょう。

【栽培暦】 ●:播種 —:生育 ■:収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋どり							●	●	—	—	—	■

① 畑の準備

- 根が深く入るので深耕し、軟らかくしておきましょう。
- 施肥は元肥（1㎡当たり有機1号ペレット30g）を主体として種まき7日前までに施し、良く耕して土と肥料を馴染ませます。
- 畝幅は1.2mとし、排水のよい圃場は平畝、耕土の浅い畑は高畝にしましょう。

② 種まき

- 25cm間隔で1ヶ所5粒程を2条に蒔きます。
- 土が乾いている時は十分灌水してから種を蒔きましょう。種をまいたら、細かい土で覆土します。（種をまく前の畝面、覆土後にクワの背で軽く押さえると良いです。）

③ 間引き

- 1回目は本葉1枚の頃3本に、2回目は本葉3～4枚頃2本に、3回目は本葉6～7枚で1本にします。
- 間引きは、葉の形の悪いもの、葉色の濃いもの、病害虫に侵されているもの、特別大きいものと小さい物から除きます。
- 間引いた後は土を寄せましょう。

④ 追肥

- 種まきを、間引きも済ませた30日後くらいに、葉の長さより外側になるところに離して施します。（1㎡当たり化成肥料15g）

⑤ 収穫

- 上方に向かって勢いよく伸びていた葉が開きぎみになり、外葉が垂れるようになったら収穫適期。品種によって収穫期が異なりますが、種まきしてから60日から70日くらいで収穫時期を迎えます。遅れると、すが入り食味が悪くなってしまいますので収穫のタイミングはとても重要（空洞化）。
- す入りの確かめ方…葉のつけ根から2cmくらいのところを切ってみて、すが入っていたら、根にも入っている可能性が高い。



役立つ！ 得する！ 情報 えいのう〜

■ 幡多農業振興センター 森田（電話 0880-34-7070）

サル対策は集落ぐるみで！！

令和2年度の高知県の鳥獣別被害金額と捕獲頭数は図1、2のとおりです。

幡多地区では、平成の初め頃から鳥獣害被害が増加し、イノシシ・シカ対策として、集落ぐるみでの金網柵設置に取り組んできました。しかし、サルは金網柵を乗り越えるため、金網柵以外の対策が求められています。

高知県では、サル被害総合対策モデル事業（以下、モデル事業）として、（株）野生動物保護管理事務所と連携し、令和3年度から2年間のモニタリング調査及び捕獲等に、県内2か所（大豊町連火・四万十市西土佐藤ノ川）で取り組んでいます。

今回は、四万十市西土佐藤ノ川集落の取り組み状況を紹介します。

四万十市西土佐藤ノ川集落では鳥獣対策として、H28～R2年度までに集落ぐるみで金網柵（延長13km）を設置しましたが、サルの被害は減少していません。

そこで、令和3年度に区長や集落協定・集落営農組織の役員が協議し、集落としてモデル事業に取り組むことを決めました。まず、農家以外への住民に、サルの対策講習会（8/4）・サル防護柵設置講習会（11/4）・ロケット花火追い払い実演会（12/8）への参加を呼びかけました。

令和4年度は、昨年度から行っているモニタリング調査（GPS発信機による経路調査）の結果や今後の取り組みについての話し合い（6/14）を行いました。参加者からは、「ロケット花火で追い払いを行っているが、今もサルによる被害が発生している」との発言があり、8月に放棄果樹等の集落調査を、12月には捕獲檻の設置を行い、継続してサル対策に取り組むことになりました。

この取り組みは地域ぐるみで行うことが重要です。詳しく知りたい方は、JAの鳥獣被害対策専門員や幡多農業振興センターまでお問い合わせください。

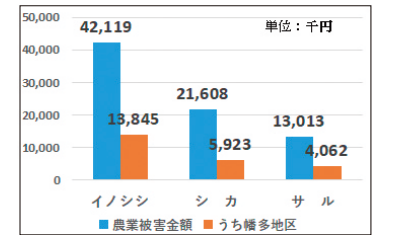


図1 令和2年度高知県鳥獣被害被害額

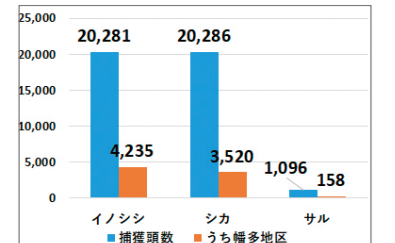


図2 令和2年度高知県鳥獣捕獲頭数



写真1 ロケット花火追い払い実演会



写真2 サル防護柵設置講習会



写真3 令和4年度の取り組み検討会

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

吉延営農組合にはずい分バリバリの若い方々が加入していると感心しています。何ともうらやましい！

(宿毛支所管内・85歳)

集落営農で、次世代へつなぐことの大切さ大変さがよく分かります。

(佐賀支所管内・63歳)

先祖から受け継ぐ田畑の維持、管理は農業経験のない私達には頭が痛い問題です。私たちの地区にも「集落営農」があれば!!

(中村支所管内・67歳)

▼農地の維持管理を集落で協力し行い、地元の放棄地をなくそうと取り組んでいる方々、次世代の担い手につなげようと活動する地域は幡多地区管内でもたくさんあると思います。今後皆さんの努力や成果などを取り上げていきたいと思えます。

「やっこねぎのケーキサレ」材料も冷蔵庫に入っている物ばかりで作り方も簡単なので是非試してみたい!!

(中村支所管内・66歳)

パウンドケーキをしばしば作っています。早速、野菜や果物を入れて2本焼きました。ケーキサレ、おいしくてやっぱり食べすぎてしまいました。

(大月支所管内・73歳)

「やっこねぎのケーキサレ」はこのごろ毎日食べ方を模索しているズッキーニでやってみようと思います。ズッキーニも胡瓜も毎日どんどん大きくなって、食べるのが追いつきません!

(大方支所管内・68歳)

「やっこねぎのサラダ」やっこねぎをサラダにするなんて発想がなかった。やってみてもいいかな。

(中村支所管内・65歳)

やっこねぎ、生でも食べられると知ってびっくりしています。

(宿毛支所管内・75歳)

▼7月の「うちんくの台所」は生産者レシピで「やっこねぎ」を使った料理の紹介でした。「ケーキサレ」はたくさんの方が作ってくださったのおたよりを拝見しました。野菜の持つ良さを引き出したりメニューの工夫も生産者さんならではの。これからも参考にしたいですね。

「認知症共済」が出来たこと、大変良いことだと思えます。誰もなりたくないが、これだけはどうしようもなく誰がなるかわかりません。明日は我が身と思う。

(大方支所管内・82歳)

「認知症共済」の広告がとても気になりました。人生100年時代と言いますが、これからは避けて通れない大切なテーマです。一度詳しくJAで問うてみます。

(大月支所管内・47歳)

▼本当に避けては通れませんね。私も心配になり2年ほど前に脳ドックを受けてみました。多くの方が認知症に対する不安を持っていたり、また予防として色々な事を行っていると思います。たくさん情報があります。身近なものでまずは私自身、家族や自分のために早期発見をすべく備えておこうと考えています。



JA高知県女性部幡多地区主催 ～親子ちゃぐりんフェスタ～ 参加者大募集! みんなでおいぎりを作ってみかんの収穫体験へGO→♪

日 時 令和4年10月22日(土) 受付 9:45～
10:00～15:00少雨決行(雨具持参)

場 所 JAグリーン四万十店2階 調理室/みかん畑(四万十市竹島)

参加料 700円(親子1組) **募集対象者** 小学生の親子(先着15組)

持ってくるもの お弁当箱(おいぎり用)・エプロン・三角巾・マスク・水筒

申込期日 令和4年10月7日(金)

※ 定員になり次第募集を終了致します。※ コロナ感染状況により中止となる場合があります。

お申込み・お問合せ JA高知県 幡多地区本部 企画組合員課 TEL 0880-34-5555 山添・石崎

